

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	不用食器リサイクル事業
事業主体 (連絡先)	松本市 (市民環境部 環境政策課 環境政策担当)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	687,314 円 (うち支援金 : 515,000 円)

事業内容

1 概要

各家庭で不用になった食器を無料で対面により回収し、状態の良いものは、希望者に無料で提供するリユースを行い、その他のものは、岐阜県に所在するリサイクル業者へ運搬し、新しい製品の原材料としてリサイクルを行うもの。

2 回収

- (1) 期 日 平成26年9月6日及び7日ほか 3回実施
- (2) 場 所 波田公民館ほか 3か所で実施
- (3) 回収量 14,047kg (3回の合計)

3 配布

波田公民館ほか 4回実施



【不用食器対面回収の様子】

事業効果

- 1 家庭で不用になった食器を回収に出すことで、排出者の「もったいない」の意識を高めることができた。
- 2 不用な食器をリユース及びリサイクルしたことで、循環型社会の形成を図ることができた。
- 3 回収した食器をリユース及びリサイクルしたため、今まで埋め立てていたごみの量を減らすことができ、最終処分場の延命化に繋がった。(約14トン)

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

【目標・ねらい】

- 1 循環型社会の形成
- 2 廃棄物の発生抑制・再資源化
- 3 「もったいない」意識の醸成
- 4 最終処分場の延命化

今後の取り組み

波田地区で始まった当該事業は、徐々にではあるが、市内の他地区にも浸透しつつある。今後は、さらに多くの地区で円滑な事業が実施できるよう、当該事業のモデルを活用しつつ、事業を展開していく。

また、今年度効果がみられたチラシ等を用いた広報・啓発を今後も継続し、市民への周知を行っていく。

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

※自己評価【B】

【理由】

チラシ等を活用した広報・啓発の効果もあり、前年度より回収量が増加し、概ね見込んでいた量を回収することができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある